

# 附属幼稚園だより 第7号

令和4年9月22日発行 文責:室野亜津子

「したい 知りたい やってみよう」  
がっぱいの幼稚園

## いよいよ運動会

今度の日曜日は、いよいよ運動会です。

附属幼稚園の運動会で一番大事にしていることは、「みんなと一緒にする運動会って楽しいね。」という子どもの思いです。

でも、楽しいだけかということそうではありません。運動会に向かう保育の中で「みんなで遊ぼう」という時間があります。みんなで揃えてするところをやってみる時間です。そこで子どもたちは学年に応じて様々な経験をします。

- ★時間を意識して行動する
- ★体操服に着替える
- ★並ぶ
- ★しばらく立っておく
- ★ほかの人の行動を見て、自分の行動を調整する
- ★全体の指示を聞く
- ★自分の力を精一杯出す
- ★少しきついことも頑張る

これらに加え、年長児は

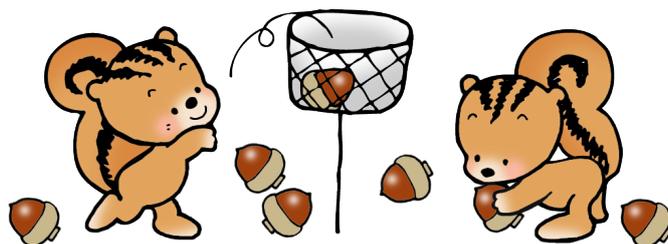
- ★人のために自分の役割を果たす
- ★みんなのお手本になろうと自覚をもつ
- ★リレーの順番など話し合っ決めて決める など

今年の9月は残暑が厳しく、暑さ指数が高くて、みんなで遊ぼうを中止にしたり、短縮したりしました。総練習も内容をだいぶ切り詰めて、1時間程度で終わりました。そのため、全体の流れや競技のやり方が十分に分かっておりません。運動会当日はおそらくスムーズにはいかないでしょう。プログラムの進み具合、時間も予測ができません。

運動会当日は、おおらかに温かく子どもたちを見守っていただければと思います。

○運動会の開催については、子どもたちにとっての環境、コロナ対策、熱中症対策など様々な角度から検討しました。保護者の方には、検温や観覧の際には人との距離をできるだけとるなど、コロナの感染防止のために御理解と御協力をお願いいたします。当日は大学側も感染防止のため、運営に協力してくれます。

○当日も暑くなることが予想されます。保護者の方も帽子を被り、水分補給をこまめにしてください。遊戯室には冷房を入れていますので、休憩にご利用ください。



## もちつき会について

新型コロナウイルスが出てきてから、ずっと、もちつき会を中止してきました。たくさんの手を使い、食べ物を触るということが難しかったからです。

もちつき会の良さは、次のようなことにあります。

- ★日本の伝統的な文化に触れる
- ★つきたての餅の柔らかい感触に触れる
- ★普段の保育とはまた違う楽しい思い出の1日となる
- ★保護者が保育に関わる など

しかしながら、もちつき会について検討していく中で、「食べ物に手で触れるもちつき会という行事自体が、衛生面を考えると幼稚園で行うのは難しいのではないか。」という考えが毎年出てきました。これは、コロナが収束したとしても同じことだと考えました。

ずっと以前から続いてきた「もちつき会」ですが、来年度の行事から外すことに決定しました。

別の形で、伝統的な文化に触れる遊び、感触遊びを考えていきたいと思います。また、保護者の力をお借りして、何か楽しいことができないかと検討中です。

### 10月行事予定

- 3 (月) 冬用制帽着用移行期間 (7日まで)
- 4 (火) ミニ講座 (年中保護者)
- 7 (金) 前期おわりの式 (午前保育)
- 11 (火) 秋休み
- 12 (水) 後期はじまりの式 冬用制帽着用開始
- 20 (木) 給食試食会 (年長)
- 22 (土) 幼児教育研究協議会  
(降園 年少・年中 10:20 年長 10:30)
- 24 (月) 振替休日
- 25 (火) 附属小学校栄養教諭の話 (年長保護者)
- 26 (水) 視力検査 (年中) ~ 27日
- 27 (木) 島原市保育会視察研修
- 28 (金) 一緒に遊ぼう「秋」~親子で遠足~

10月4日のミニ講座は、教育学部幼児教育コースの脇信明先生に「幼児期の姿から内面の発達を理解する」というテーマでお話していただきます。(11:00~12:00 遊戯室)  
年中児保護者が対象です。たくさんご参加ください。